

山形県スポーツ少年団

# 大空に翔る

平成8年3月発行

No.12

発行  
(財)山形県体育協会  
山形県スポーツ少年団  
山形市松波2-8-1  
☎(0236)30-2852  
印刷 (株)大風印刷



太平洋・インド洋トランポリン  
選手権大会出場  
上山トランポリンスポーツ少年団

- ◀ダブルミニ・トランプ競技の演技  
選手 斎藤哲也
- ▼北海道立北見体育センターにて表彰式



## リーダー会の一年を振り返って

(リーダー会員) 高梨 智美

山形県リーダー会が設立して、今年で二年目となります。今年も二年目ということで、さまざまな行事に参加しました。

今年度の主な活動としては、スポーツ少年大会やジュニアリーダースクールなどの参加、協力および一泊二日で会員研修会を開き、会員同士の交流を深めました。

また、八月六〜八日(青少年研修センターにて)に行われた、第一回全国リーダー研修会では、全国のリーダー会を代表して、事例発表を行ったり、十一月二十四日に行わ

れた埼玉県リーダー研修会に参加したりと、活動の幅を広げ、全国各地の仲間とも交流を深めることができ、全国的にリーダー会をアピールすることができました。

しかし、未熟な所も多く、やり残したこともあり、反省点も多く残る一年でした。来年度は、今年の反省を生かしさらに飛躍していきたいと思っています。

これからも、山形県リーダー会をよろしくお願いします。

## リーダー会の活動を見て

(指導者協議会) 遠藤 啓一

山形県リーダー会の相談員という立場で彼等のこれまでの活動を見てきて感じているところを書いてみたい。

結成二年目の今年はリーダー会にとって大切な年であり、会員にも数々の新しい体験が待っていた。活動のひとつの柱となる県本部事業への補助という面では、県スポーツ少年大会とジュニアリーダーズクラブにおいて、大会スタッフとして全面的な信頼を得る

活動を展開したし、もうひとつの柱である会員研修の面では、全国リーダー研修大会での発表や先進県リーダー会との交流を通して、自分達を厳しく見つめる姿勢を貫いていた。

本県の場合、高校生が主体であるが、ひとつひとつに真剣に前向きに取り組んでいる彼等の姿を見て、リーダー会活動に携わっている者として喜びを感じるのである。

しかし、会員の出身単位スポーツ少年団が限定されており、しかも数回しかない現状に今後の不安を隠しきれない。

日本スポーツ少年団がリーダー育成を唱えて久しいが、本県の実態を見る時、まだまだ指導者のリーダーへの認識不足を強く感じるのである。

リーダーは指導者が育てるものである。若い彼等の存在が少年団を魅力あるものに変えるということに、指導者は早く気づくべきである。どうか指導者の方々には本気になって、リーダー育成に取り組んでほしいものである。指導者の方々にはリーダー会の活動す



# 追って

集  
特

# リーダーの活躍を

る姿をぜひ見ていただきたい。  
そして、彼等と話してみたい  
いただきたい。

今年三年目となる若いリー  
ダー会ですが、早く自立でき  
るように望みながら、彼等の  
活動を温かい目で見守ってい  
きたいと思う。

## シニアリーダーズクラブに

参加して

(朝日村大泉剣道) 佐藤 千里

八月十五日〜十八日まで、  
シニアリーダーズクラブに参  
加させていただきました。全  
国の各地から、それぞれのリー  
ダーが集まった夏の四日間は  
苦勞もありましたが、とても  
勉強になり、また他県のリー  
ダーからはリーダー会のこと  
などいろいろな話を沢山聞か  
せていただきました。

六時間の講習、実習、班活  
動では沢山のことを学びまし  
た。リーダーとしての役割か  
らけがの処置、そしてスポー  
ツテストまで。リーダーとし  
て心得ておかなければならな  
いことも、多く学びました。  
また、テーマディスカッション

ンでは、「どのようなリーダー  
が好まれるか」など、自分の  
経験をふまえて、お互いの意  
見を言い合い、相手の意見を  
吸収して、今後の活動に役立  
つ話し合いができました。

新年度よりは、所属団でも  
リーダー会を作るため、他県  
のリーダー会の活動内容を聞  
かせていただいたことはとて  
もためになりました。

また、団の指導者の方々、  
推薦してくださった指導者の  
方に感謝し、今回の経験を、  
今後の団活動、リーダー会活  
動に生かし、より一層がんばっ  
ていこうと思います。



## 楽しかった

## シニアリーダーズクラブ

(いづみサッカー) 斎藤 辰弥

ぼくは、このジュニアリー  
ダーズクラブに参加していろ  
んな体験をしたりしてと  
ても楽しかったです。たとえ  
ば、バスケットやグラウンドゴルフ  
をしてあそん  
だことや狂言  
などいろいろ  
楽しいことが  
ありました。

でもつらかつ  
たこともあり  
ました。それ  
は、体力テス  
トです。その  
中でもつら  
かったのは、  
五分間走とう  
で立ておせで  
す。でも五分  
間走は、一キロ  
メートル以上  
はしれたので  
よかったです。  
す。

ためになっ  
たこともあり

ます。それは、スポ少はど  
ういうところなのかやなにをす  
るためにスポ少をやっている  
ということを自分で考えたり  
おしえてもらったりして、と  
てもためになりました。  
これから小学生にいろいろ  
とおしえていきたいと思いま  
す。



# 団員の夢

## 山辺ミニバスケツト

### スポーツ少年団

熊谷 圭太(山辺町)



ぼくたち、山辺ミニバスケツトボールスポーツ少年団の夢は三つあります。

一つ目は、全国大会出場です。ぼくたちは、去年の最後の試合で、中山ミニバスケツトスポーツ少年団に、敗れてくやし涙をのみました。でも女子は、勝ちあがって、とうとう全国大会の切符を手に入れました。その時に、

「ぼくたちも全国大会に行けるようにがんばろう。」  
 と思いました。だから、今は、先は長いけど、その夢に向かって練習しています。

二つ目は、ほかのチームの団員との仲間作りです。今の六年生たちは、ほかのチームの人と、とても仲よくしてました。それで、それを見て、「ほかのチームの人とも仲よく

できてうらやましいなあ。」

か、そのチャンスがありませんでした。だから、今年はその機会を増やしていきたいと思っています。

それと、ほかのチームの人



## 月山スキースポーツ少年団

工藤 健一(西川町)

「県中学校スキー大会優勝。」

ぼくは、今まで目標にしてきたことをやりとげることができました。そして、全国中学校スキー大会出場という月山スポ少では、久しぶりのこ

とでした。

ぼくの夢は、まずは、全国大会優勝です。それができれば、ワールドカップに出場することです。そして最後は、

だけでなく、自分のチームの仲間とも仲よくやっていきたいと思えます。ぼくたちが入ってきた時には、その時の五、六年生の人たちから、よくめんどろを見てもらいました。だから、ぼくも自分がしてもらった事を、今度入ってくる新人たちにしてあげたいと思っています。

三つ目は、強いチームを作る事です。週三回の練習を集めてやりたいと思っています。

そして、秋には、くいののこらない試合ができるようにがんばりたいと思います。

ワールドカップ優勝です。ぼくの目標にしている人は、ロシニョールジャパンの木村公直さんです。公直さんは、ワールドカップ第八位、ポイントでは、一六位というとても素晴らしい成績をのこしています。

ぼくも、公直さんのように日本の代表選手になって、ワールドカップでかつやくしたいです。それには、夏の陸上ト

レーニングや海外遠征をして、いろんなことを、見て学んで、研究していきたいです。

スキーは、冬だけのスポーツだけど、夏のトレーニングがあつてこそ勝てると思います。ぼくは、敗れるレースはしません。勝つレースをします。ぼくは、負けずらいのです。



## 上新町スポーツ少年団

水田 岳彦(村山市)

ぼくは、野球が好きで、小学校一年の時から上新町野球スポーツ少年団に入りました。学校が休みの日、朝六時三〇分、ランニングから始まって、ランニングから始まって、バツティング、守備のハードな練習です。石山監督がグラ

ンドで待っているのに朝ねほうをして、おくれたこともありません。けれど、練習をいやだと思ったことは、一度もありません。春の大会はおもしろくも準備、秋の大会は優勝しました。ぼくが六年間野球をしてわかったことは、チームワークの大切さです。ぼくがホームランを打った時もうれしいですが、友達がホーム

で、もつともつと努力してまけないようにしたいです。勝つということは、とてもうれ

しいし、とてもたのしいので、これからも「優勝」を目指してがんばりたいです。最後に

ぼくの夢は「全国制覇」です。これからは「全国制覇」です。

町内の人達も、外に出て、喜んでくれました。あの時の感激は忘れません。これから、あの優勝の喜び、感激を味わえるよう、厳しい練習に積極的に取り組んで、いきたく







### 酒田市宮野浦 グリーンメッツ(野球)

堀 尊導(酒田市)

僕は、三年生で野球スポーツ少  
に入りました。最初は、ボー  
ル拾いなどをやっていてつま  
らないから、やめようかなあ  
といつも思いながら、やって  
いました。でも、僕には、一  
つの大切な夢がありました。  
それは、五、六年生みたいに  
上手くなって試合に出て、活  
躍して勝つことです。でも、  
僕は、いつも、ベンチにも入  
れず、ベンチ外での応援だけ  
でした。でも、監督から、  
「野球は、チームワークからなっ  
ている。野球は、一人ではで  
きない。つまり勝てないんだ。  
それに今の五、六年生も君と  
同じ思いをしてきたんだ。君  
一人だけじゃない。他の人も  
君と同じ思いをしているんだ  
ぞ。」  
と、何度も励ましの言葉を、  
いただきました。僕は、試合  
に出たくてたまらなかったの  
でがんばりました。それから、  
あつというまに月日がたち、  
今は五年生で、キャプテンに

なりました。そして、ピッ  
チャーにもなれました。でも、  
悩みも少しあります。それは、  
キャプテンとして、みんなの  
ことをひっぱっていかなかれ

## 団 紹 介

### 中山町卓球スポーツ少年団

指導者 東海林 一



ばならないことです。僕が、  
困っていると、他の五年生の  
人たちが助けてくれます。今  
では、三年生からの夢が、か  
なってよかったと思います。  
これからも六年生への夢を  
もって、野球スポーツを続けたい  
と思います。

中山町卓球スポーツ少年団  
は、中山町の二つの小学校の  
三年生から六年生まで二八名  
(男子二三名、女子一五名)の  
団員で活動しています。まだ  
新しい少年団ですが、団員の  
数もふえ、活動も軌道にのり  
かけています。  
練習は毎週水曜日で、去年  
オープンしたばかりの中山町  
総合体育館で気持ちを新たに  
ハリキッて練習しています。  
週一回は少ないが、大会では

試合の雰囲気にも慣れて、上  
達していく団員を見ると大変  
頼もしく感じられます。  
年間行事としては、各種大  
会、交流会、合宿、いも煮会、  
バーベキューなどがあり、団

### 西川バドミントンスポーツ少年団

監督 木村 啓二

団結成が平成四年。まだ歩  
き始めたばかりです。団員、二  
三名、やっとバドミントンの  
楽しさがわかり始めたのでは  
ないでしょうか。持久力、瞬  
発力、集中力を兼ね備えたす  
ばらしいスポーツです。  
練習は通常週一回ですが、  
試合が近付くと二回になりま  
す。結成三年目で県バドミン  
トンスポーツ少年団交流大会  
で芽を出し始め、四年目にし  
て一組の男子ダブルスが優勝  
候補を準決勝で破り、準優勝  
に輝きました。それもまた、  
保護者のみなさんの協力があ  
り、私たちは指導だけに集中で  
き子供たちも楽しさだけで  
なく、勝った時の味わいを体で  
感じ始めてきたからでしょう。  
バドミントンの他にも西川

の親睦を深めています。  
今後、更に元気な少年団を  
目指すとともに、規律と礼儀  
を重視した指導を行ってい  
たいと思っています。



町スポーツ交流大会に参加し  
たり、親子で芋煮会、クリス  
マス会、焼肉パーティーなど  
の行事もやっています。  
これからも団員、指導員、  
保護者会が一九となって、

益々練習に励みすばらしい実績を作り上げていけるようがんばっていきます。子供たちは限りない力を持っているはずですから。

### 大石田キンダースポーツ少年団

代表指導者 阿部 彦弥

大石田キンダースは、野球を通じて、お互いに助け合いながら心身共にたくましい少年になることを目標として、昭和五十三年に結成されました。大石田小学校と横山小学校に在籍する三年生以上の野球大好き少年が集まって、楽しく活動しています。

主な活動として、次の四つがあげられます。(それぞれにテーマを決めて)

① 各種大会出場：日頃の活動の発表の場、目標意識の高揚

\*試合を通じて課題を探るため、積極的に出場しています。

② 合宿活動：心の交流を図る場、チームワーク強化

\*一泊二日の日程で、寝食を共にして仲間意識を高めています。

### 北辰サッカースポーツ少年団

代表 小関富士雄

北辰サッカースポーツ少年団は、新庄市立北辰小学校の子供を中心に、三〇名の団員と母集団で運営し、スポーツ活動を中心に、親子共同作業、

話し合い、月、水、金曜日の練習日については、野球と

ゴミ拾い合宿、スポーツ交流会、芋煮会などの年間行事を行っています。

練習日については、野球と男女を対象とした。以来九年間は小学校



ます。

③ 親子ふれあい活動：共に汗を流す場、親子の心の交流

\*親と子の練習試合。いつもガミガミお父さんもこの日はタジタジ？

④ 各種スポーツ挑戦活動：多面的な成長の場、地域の一員としての自覚

\*町主催の各種行事に積極的に参加しています。レクリエーションの要素も含めて、多面的からの成長をめざしています。ドッジボール大会・綱引き大会ともに優勝！ アルペンスキー交流会も五回実施しています。

母集団の協力体制もしっかりとっており、団員・父兄・指導者がガッチリとしたスクラムを組んで、毎日活動しているのだと誇りに思っています。



### 小松バレーボールスポーツ少年団

代表 高橋 泰子

週三回でいろんな話をしながらコミュニケーション。夏休みの練習が雨が降ると雨宿りする森、一番子供達を見守ってくれる、暑い時間やきの森だと思ふ。各大会に参加し、子供達は、練習を楽しい時間、楽しみ、苦しみに負けて休む時間、悔しがり、勝つて喜び、といつた、大きないろいろな感情を体験するなか、中で、フェアプレーの大切さをけやきの学びお互いに認め合い、助け森の下で合つていく必要さこうした活動を目標とし、伸び伸びと何す。子供事にも自分から進んでできる達と、子供を育てたい。

小松バレー

ボールスポーツ少年団は、昭和五十九年に小松小、夫

川小を対象に結成され、翌

年六十年に団登録を行いました。

以来九年間は小学校男女を対象と



### わかくさバレーボールスポーツ少年団

指導員 島貫潤一郎

した活動をしてきましたが、行っています。昨年からは、バレーボール後継者を育てる事をねらいとし中学生も含む組織として再スタートしました。(会計、活動内容は別々、育成会行事は基本的に一纏、但し中学生の場合は部活動との兼ね合いもあるので、顧問の先生と連絡を密にしながらい貫した指導体制を取っています。

現在団員は、小学生一名、中学生一〇名、指導者六名(男四名、女二名)で、週四回所をつくっていきたくて考えています。

わかくさバレーボールスポーツ少年団は、昭和五十一年に結成され、十九年目を迎えておりますが、当時の青少年育成推進活動の一環として地区公民館の呼びかけで結成した六つのスポーツ少年団の一つです。

現在団員数は小学生二一名、指導者三名とこじんまりだけどまとまりの強いチームで、週二回(火、金曜日)二時間

の練習に励んでおります。

バレーボールを通して体力や技術を身につけながら、あて親子がふれ合うのも良い事いさつ、返事、後片づけがきちつと出来る人間になつてもちつと出来る指導目標にしております。それから、練習日には、父兄も交替で必ず一、二名は感動します。

### 朝日村大泉剣道スポーツ少年団

代表指導者 岡本孝雄

当団は、昭和四十八年十二月結成、母集団は二年程遅れて結成され現在二十二周年目に入りました。

朝日村立大泉小学校区を中心とした活動で現在は週二回活動日を設けています。毎週月曜日は、体験活動としてシーズン毎に種目を変えミニバスケットやソフトミニバレー、卓球等各種のスポーツを楽しんでおります。また、毎週末曜日

は剣道の活動日として稽古に励んでおります。団員は小学生が一七名、中学生五名、高校生二名と大学生が一名の計二五名で、指導者は剣道部門が七名に他バスケットボール、バレーボール、団育成等担当

礼儀正しく、良い行いのできる子供、勉強も頑張る子供を活動目標として指導者、学校、母集団、団員が一丸となつて頑張っている我が大泉剣道スポーツ少年団です。





日独スポーツ少年団同時交流（受入）

国境を越えて

朝日村高校生ボランティアサークル

伊藤 和成

今回の第二二回日独スポーツ少年団同時交流は、私にとつてすばらしい青春の一ページとなりました。

私は、朝日村高校生ボランティアサークル「かだんこ」の会で活動しています。ボランティア活動を通して、いろいろな人とふれあっています。だから、人とふれあうことが大好きです。今回の交流では、他国の人とふれあえたというこ

とでもうれしく思っています。レクリエーションをはじめ、食事会や大鳥少年の家に泊りして討論会といった様々な分野で一緒に楽しみ語り合え

ました。ドイツ人ということ、大変貴重な経験になりました。本

に、何年に一度しかない交流に参加させて頂き、本当にありがとうございました。

このような討論会で、国境を越え同じ人間として語り、ふれあえたことが私には、大変貴重な経験になりました。本

最後に、何年に一度しかない交流に参加させて頂き、本当にありがとうございました。

最後に、何年に一度しかない交流に参加させて頂き、本当にありがとうございました。

私は、この体験が大人に成長していく上で、大きな意味をもつたことを今改めて感じます。本当にありがとうございました。

日独スポーツ少年団同時交流（派遣）

ドイツ滞在を通して

やまぼうしミニバスケットボールスポーツ少年団

石山 伊織

ドイツから帰国して、早くも五ヶ月がたちました。最近になってようやく、ドイツでの体験が記憶として整理されてきたように感じます。それほど強烈な印象を受けた、この度の第二二回日独同時交流に、寒河江市および山形県スポーツ少年団の推薦をいただき参加することができ、大変うれしく思っています。

二度の事前研修を経て、七月二十日から八月十二日までの二十四日間、ドイツに滞在しました。最初の三日間ぐら

いは、三八度の気温と慣れない炭酸水のためにバテ気味でしたが、その後は体調も持ち直し、元気に過ごせました。

十七日間のホームステイ期間中、私達東北Ⅱグループは、バイエルン州のノイウルムという町を中心に、スポーツを

全国大会に参加して

全国大会に参加して

稲穂サッカースポーツ少年団

村田麻里子

私は、全国大会に行くまで、そんな不安は、全国大会に行きたくないと、すぐに消えてしまいました。「こんにちば」が合言葉

も、珍しいものではありませんでした。

この他にも、たくさんの方が記憶として私の中に蓄積されました。私の切實な生活は、年齢制限のために今年で終了しますが、今後は指導者として、蓄積したこと

を還元していければと考えています。





のような全国大会だったので、勇気を出して、初めて会った人に「こんにちは」というのもう、なんかそれだけで、友達になったような気分になれたし、それで、何人もの友達ができただけです。私は、ここで友達になった人と、ここだけのつきあいというのではなくこれからは、ずっと友達として、つきあっていきたいと思っています。

全国大会に行くと、わたしが一番うれしかったことは、

「東北スポーツ少年大会」への募集開けである。

「行ってきます」  
不安と期待でいっぱいになった、大きなバックを肩にかけて家を出た。これからが私の「東北スポーツ少年大会」への募集開けである。

私は、飯豊町の人と一緒に途中何事もなく、無事「宣城県蔵王少年自然の家」に到着した。この四日間は、楽しかった

「行ってきます」  
着。一日目はバンガローでの寝泊り。二日目見学研修。三日目は登山とキャンプファイヤー。四日目に帰宅をするというスケジュールだった。

### 充実した四日間

川東剣道スポーツ少年団

横山 純子

### 東北スポーツ少年大会

紀子さまと話をすることができたことです。山形県と書かれているプラカードを持っていたので、話をすることができました。また、陛下にも、声をかけていただくことができました。あと、私が一番ビックリしたことは、全国大会が終わって、家に帰ると、ドイツの人が三人来ていました。夏になると、ドイツの人が来るので、それ自体には驚きませんでした。が、なんと、その三人のうち二人の人が、全国大会の開会式に、出席なさっていた人たちだったので。初めは、何とも思わなかったのですが、時間がたちにつれ、「あれ、どこで見たことのあるような人たちだなあ。」と思った。なんと、そうだったのです。私は、全国大会のことについてなると、いろいろなと、通訳の人を通してですが、話をしました。この全国大会では、全国の人に会って、自分にプラスになることが、たくさん学べたと思っています。この学んだことを今後に生かしていきたいです。



もでき、いろいろな事を学ぶこともできた。

協力の大切さ、責任の重さそして、三日目の登山で一人行方不明になった事から学んだ命の尊さ、また、あらためて集団行動の難しさがわかった。

ここで学んだいろいろな事を、私のスポーツ少年団や県のスポーツ少年団に伝えていきたいと思う。

また、私の救済ある夢の一つに、「全国スポーツ少年大会」

### 第三一回山形県スポーツ少年大会を振り返って

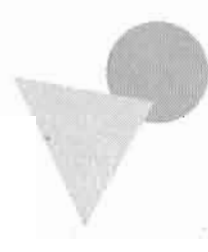
最上町スポーツ少年団本部

事務局 阿部 賢太

今年度の大会は、県立神室 八日から三十日の日程で行われ、私も大会委員の一人として

に参加して、地区や県のスポーツ少年団の活性化に貢献することがある。その夢をかなえるためにも、これからはもっとスポーツを愛し、思いやる心を忘れずにがんばっていきなさいと思う。

このような充実した四日間は、家族の協力やスポーツ少年団のみならず、その他多くの人達の協力があったからこそだと思います。忘れられない多くの思い出ができたことを本当に感謝しています。ありがとうございました。





て参加させて頂きました。この大会に参加して、大きく二つの印象をもちました。

一つは、各地区から参加した一〇〇名の子供達が、一つの活動毎に親密さを増していく姿でした。その中でも多くの子供達が、アンケートに一番苦労したことであげていた「ウォークラリー」で、班毎に

ポイントを必死で見つけようとする時には道なき道を分け入っていく姿に改めて子供達のたくましさを感じました。

もう一つは、リーダー会の活躍でした。この大会が楽しかったと言ってくれた子供達の賛辞は、全て彼らに捧げてもいいと思います。リーダー会としては活動を始めたばかりですが、子供達が楽しんでくれるように、朝早くから深夜まで本当に一生懸命やってくれました。昨年は私は青森県の岩木町で行われた東北スポ少大会に参加する機会を得ましたが、そのときも地元のリリーダー会の人達が大人の指導者以上に次々と活動を展開していく姿に感動しましたが、さまざまその力が山形県のスポート少年団の中にも生まれたことを嬉しく思いました。

あの暑い夏の出会いが一人ひとりの子供達の活動の励みとなっていることを祈りつつ、今回参加してくれた子供達の中から、リーダー会のメンバーが誕生したら大変素晴らしいと思います。

## 地域交流促進事業

### 西村山支部

寒河江市スポ少指導協理事 早川 勤也

本大会の参加者の大半が五、六年生。だんだん大人びてくる時期でもあり、最初は恥ずかしさが先にたつのか声も途切れがち。それが、スケジュールをこなし、打ちとけていくにつれ、次第に子供らしい笑顔がのぞいていきます。(いいぞ)そして「人造画」(与えられたテーマを人間の体で表現する)で、「蔵王」のお釜を人間の「オカマ」(ウツフン♡)で表現する段に至ってはもう抱腹絶倒!その後の交流がスムーズに進んだことは言うまでもなく、大成功のうちには大会を打ち上げることができました(よしよし)。

大会を終えて、大会の趣旨である「市の団員が一同に会して交流し、団活動の活性化を図り、あわせてリーダー育成を図る。」に沿うべく、第一回目よりも第二回目、と着実にステップアップしていると

## 市町村の動き

(高島町)

高島町スポーツ少年団は、現在、二三団(団員五八〇名)指導者一四五名)が活動しています。今年度、新たに一団が加入し、昨年度より団員が二名、指導者が六名増えていきます。

今年度の研修会は、昨年六月、スポ少関係者とスポーツ・体育関係者三〇名の参加で「テーピング講習会」を開催しました。

また、今年一月、第一五回目を迎えた町スポーツ少年団交流大会は、団員、指導者合わせて

約三五〇名が参加し、ゲームやビーチバレー、エアロビクス体操で楽しく交流を深めました。

一方、昭和五十六年に発足した指導者協議会は、今年度は昨年七月に指導者懇談会を開催し、各団の状況報告と情報交換を行っています。

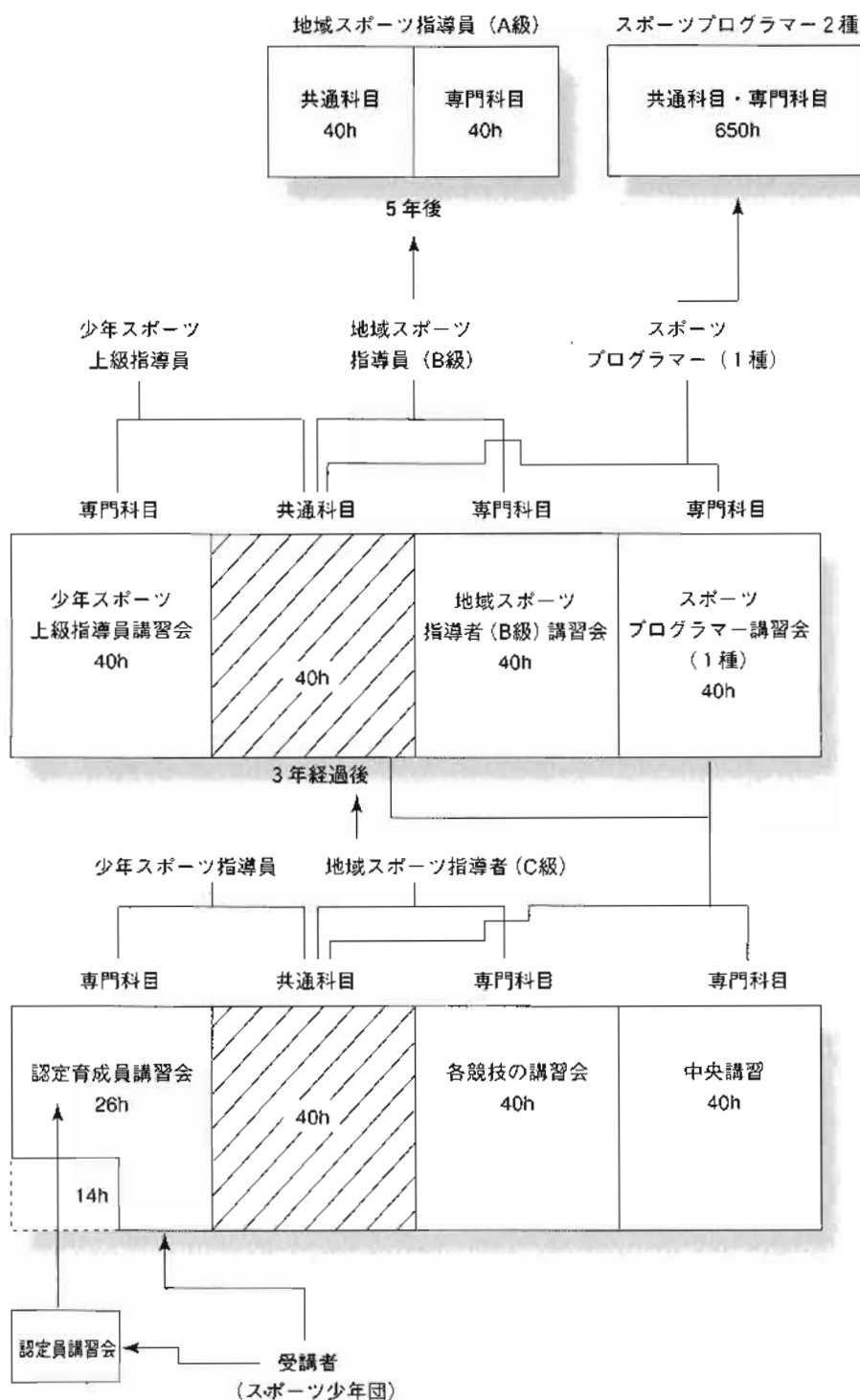
改めて、スポーツ少年団の「理念」を確認し、「地域に根ざした団活動」を大切にして事業を展開していきます。



〈指導者の資格〉



指導者とリーダーの資格について

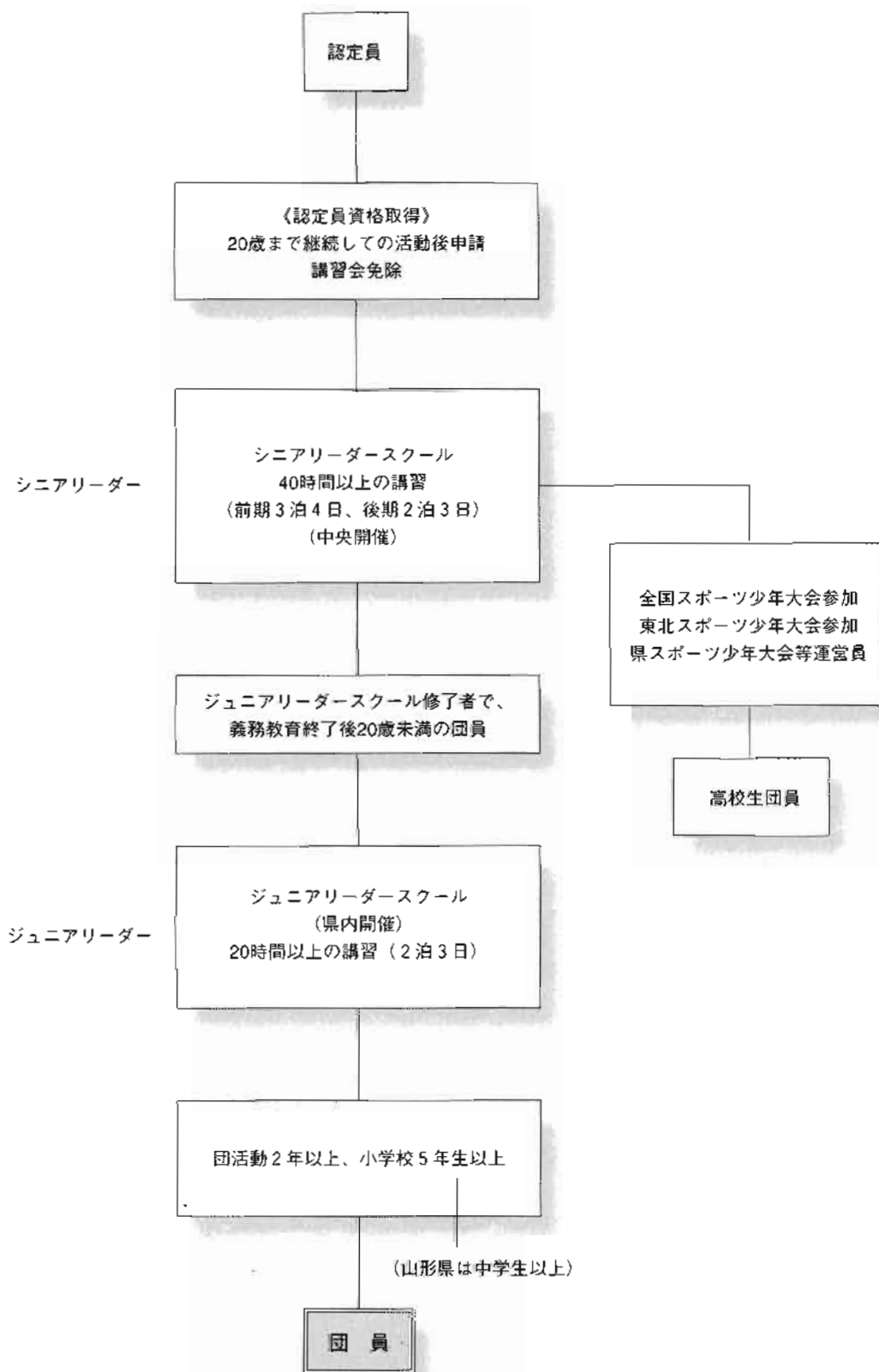


少年スポーツ指導員

地域スポーツ指導員

スポーツプログラマー

〈リーダーの資格〉



平成8年度山形県スポーツ少年団主要事業計画

		事業名	期 間	会 場
大会関係	県内	・第18回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会県予選会	6月30日、7月7日	天童市民球場 神室少年自然の家 総合運動公園他
		・第32回山形県スポーツ少年大会	7月26日～7月28日	
	県外	・県民スポーツフェスティバル「少年少女スポーツ交流大会」	10月6日	福島県 山形県(川西町) 山形県 群馬県 宮城県 茨城県
		・第27回東北ブロックスポーツ少年大会	7月28日～7月31日	
		・第34回全国スポーツ少年大会	7月26日～7月30日	
		・第18回全国スポーツ少年団ホッケー交流大会	8月7日～8月9日	
県外	・第18回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会東北Ⅱ大会	7月27日	山形県 群馬県 宮城県 茨城県	
	・第18回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	8月14日～8月17日		
	・第16回東北ブロックスポーツ少年団競技別交流大会	3月27日～3月29日 3月28日～3月30日		青森県 千葉県
	・サッカー ・柔道 ・ミニバスケット			
県外	・第19回全国スポーツ少年団競技別交流大会	8月上旬(2泊3日)	東京都	
	・第2回全国スポーツ少年団SHIPS交流大会			
研修関係	県内	・認定員養成講習会(県内4地区)	12月7日～12月8日 11月30日～12月1日 6月22日～6月23日 11月9日～11月10日	東山村 北山村 東南置 庄内 西置 上山 西村山、庄内
		・体力テスト判定員講習会	8月16日～18日	
		・県ジュニアリーダースクール	3月8日	
		・県指導者研修会	3月5日～3月6日	
	県外	・市町村スポ少スポ安事務担当者研修会		
		・育成母集団研修会(県内2ヶ所) ・リーダー会研修会		
県外	・シニアリーダースクール	8月12日～15日、3月26日～28日	秋田県、静岡県 秋田県 東京都 東京都 東京都 東京都	
	・認定育成員養成講習会(兼)少年スポーツ指導員養成専門科日講習会	(前)11月16日～18日 (後)12月13日～15日		
	・育成員認定研修会(兼)少年スポーツ指導者資格取得補習講習会	ABコース 9月20日～22日 Cコース 10月11日～13日		
	・育成員認定研修会	11月15日～16日		
	・少年スポーツ上級指導員養成専門科日講習会	10月22日～27日		
	・全国研究大会 ・全国リーダー研究大会	1月19日 9月14日～16日		
交流	県内	・地域交流促進事業		北山村 東南置
	県外	・第23回日独スポーツ少年団同時交流(受人) (派遣)	8月4日～8月9日 7月20日～8月12日	最上 ドイト各 ドイ各 アメリ アトラ ンタ
		・日独青少年セミナー ・国際ユースキャンプ	10月5日～25日 7月17日～31日	
県	・県スポーツ少年団表彰	3月5日	上市	
会議	県内	・県スポーツ少年団協議会	5月10日、3月12日	山形市 山形市 山形市
		・県スポーツ少年団本部員会	5月31日、2月18日	
		・県スポーツ少年団専門委員会		
	・県スポーツ少年団指導者協議会理事会	5月13日、10月31日	山形市	
県外	・全国指導者協議会	7月上旬	神奈川県	
	・東北ブロック指導者研究協議会		山形県	
	・北海道・東北ブロック会議	2月13日～14日	東京都	
	・日本スポーツ少年団委員総会 ・全国都道府県事務担当者会	6月 6月	東京都	

編集後記

県のリーダー会が発足し、実質的に活動を開始して二年が経過しました。そこで今回は、リーダー会の活動報告とジュニアリーダースクール、シニアリーダースクールの参加者の感想を特集しました。中学生になるとスポーツ少年団を離れてしまう団員がほとんどの中であって、中学生、高校生、大学生、社会人になってもスポ少活動を続け、その後は指導者として活躍していくという彼らの存在は、とても大切なものと思います。彼らの存在を理解し、彼らの活動を認め、保証してあげることが今後の山形県スポーツ少年団の発展につながるものだと思います。

まだまだ、認知されていない彼らですが、機会ある毎に活動を紹介し、話し合いを待ち、指導者にとっても、リーダーにとっても役立つような存在になっていかなければならないと思います。